



エコアクション21[®]
認証番号 0006072

環境経営レポート 2023

対象期間 2023年7月1日～2024年6月30日



静岡市駿河区丸子



浜松市浜名区橋梁点検



伊豆市小土肥



浜松市天竜区豊野町豊岡

2024年8月8日

 株式会社 技研測量

目 次

I 計画の策定

1	組 織 の 概 要	1
2	実 施 体 制	2
3	環 境 経 営 方 針	3
4	環 境 経 営 目 標	4
5	環 境 経 営 計 画	5

II 計画の実施

6	環 境 経 営 目 標 の 実 績 と そ の 評 価	6~8
7	環 境 経 営 に 基 づ き 実 施 し た 取 り 組 み 内 容 (実 施 状 況 と 評 価 を 含 む)	9~13
8	環 境 関 連 法 規 等 の 取 り ま と め 及 び 遵 守 状 況 並 び に 違 反 、 訴 訟 な ど の 有 無	14

III 全体の評価と見直し

1. 組織の概要

事業所名	株式会社 技研測量			
代表者氏名	代表取締役 宮島直久			
設立	1970（昭和45）年7月13日			
所在地	本社	〒433-8112 浜松市中央区初生町 978-12		
		TEL (053) 437-0333 FAX (053) 437-0787		
		E-mail : giken@key.ocn.ne.jp		
		URL : https://gikensokuryo.com		
環境管理責任者	大塚将幹	E-mail : g-otuka@juno.ocn.ne.jp		
事業内容	測量	基準点測量・GPS・水準測量・平板測量・路線測量・河川測量・深淺測量・用地測量・各種管理台帳		
	建設コンサルタント	道路設計・上下水道設計・河川設計・水路設計・農業土木設計・森林土木設計・農地復旧		
	補償コンサルタント	土地調査・物件調査・営業補償調査・機械工作物調査・事業損失調査		
登録業種	測量業 第(13)-3595号 建設コンサルタント業 建02-9631号 補償コンサルタント業 補05-336号			
従業員	計 19 名（技術・業務 18名、事務 1名）			
事業所の規模		事業年度 7月～翌年 6月		
活動規模	単位	2021年	2022年	2023年
売上高（百万）	円	197	170	161
従業員数	人	18	18	19
床面積	本社	m ²	292	292

【対象範囲】

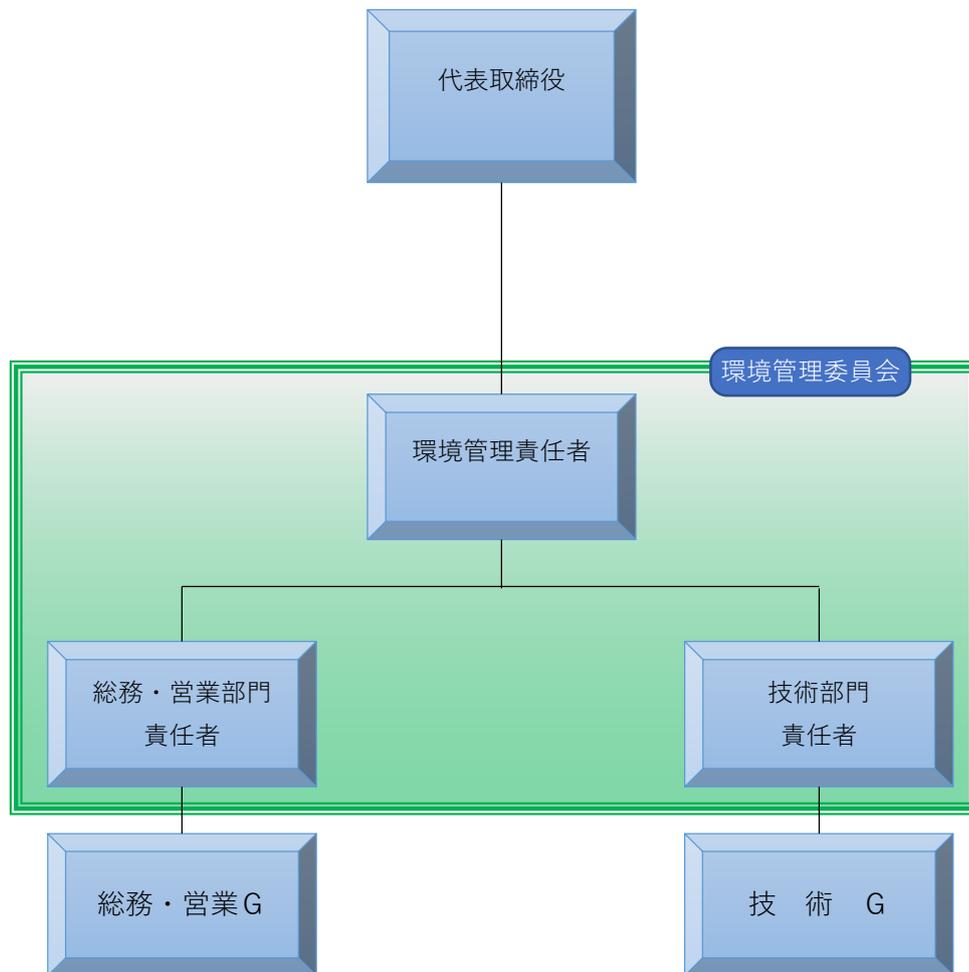
認証・登録範囲は全組織・全活動・全従業員を対象とする。

【環境経営レポート対象期間】

2023年7月～2024年6月

2. 実施体制

組 織 図



役割・責任・権限	
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な人・設備・資源・費用等を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境目標及び環境活動計画記載の環境活動計画書の承認 ・代表者による全体の評価と見直しの実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムを構築し、実施と管理 ・環境関連法規制等一覧表の作成 ・環境目標の設定 ・緊急事態の特定及び緊急事態対応訓練計画と実施 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・環境活動の取組状況の確認 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
担当部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・担当業務範囲における環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況の確認と報告 ・担当業務範囲における運用手順書の作成及び手順に基づく運用管理
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門の問題点の発見・是正・予防処置 ・環境方針の理解と環境への取組の重要性の自覚 ・自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境経営方針

株式会社 技研測量 環境方針

基本理念

株式会社技研測量は、社会資本整備の一翼を担う企業として地球環境の保全が最重要課題と認識し、地球環境負荷の低減に配慮した事業活動に取り組み、地球環境の保全と向上に継続的に努めます。

行動指針

- ①事業活動におけるCO₂排出量を減らすためエネルギー(電気、ガソリン、軽油、LPG)消費量そして総排水量の削減に努めます。
- ②廃棄物は適正に処理を行い、リサイクルと削減に努めます。
- ③当社に関わる環境関連法令および協定・条例を遵守します。
- ④環境保全活動に関する教育・啓発を全社員に対し定期的を実施し、環境方針の理解と周知徹底に努めます。
- ⑤当社事業で購入する商品及びサービスについては、グリーン購入を可能な限り推進します。
- ⑥当事業活動における環境への取り組みに関しては、環境に有益な取り組みを常に思考・試行・志向して参ります。

制定日 2009年12月4日
改定日 2022年6月30日

株式会社 技研測量
代表取締役 宮島 直久

(3 年 間)

4. 環境経営目標

事業年度 毎年7月～翌年6月の1年間

環境目標項目	単位	基準年数値	2023年 (実績)	2024年 (目標)	2025年 (目標)	2026年 (目標)
		2021年度 実績を ベースとする				
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	19,412	18,044	19,412	19,218	19,024
			(93%)	(100%)	(99%)	(98%)
2 電気使用量の削減	kWh	11,732	13,385	11,732	11,615	11,497
			(114%)	(100%)	(99%)	(98%)
3 ガソリン及び軽油使用量の削減	ℓ	6,389	5,529	6,389	6,325	6,261
			(87%)	(100%)	(99%)	(98%)
4 総排水量の削減	m ³	97.0	103.0	97.0	91.1	91.1
			(106%)	(100%)	(99%)	(98%)
5 社有車の燃費向上	km/ℓ	16.0	15.8	16.0	16.0	16.0
			(99%)	(100%)	(100%)	(100%)
6 廃棄物排出量の削減 (再資源化率)	t	0.66	2.69	0.63	0.63	0.63
	(%)	(40%)	(40%以上)	(40%以上)	(40%以上)	(40%以上)
7 グリーン購入	購入品目	(24/35) 総品目の 6割以上	(30/46) 総品目の 6割以上	総品目の 7割以上	総品目の 7割以上	総品目の 7割以上
	総品目					
8 【自ら提供するサービス】 環境に配慮した計画・ 設計の適切な提案	提案 件数	設計受注 件数の 2割以上	(17/32) 設計受注 件数の 5割以上	設計受注 件数の 3割以上	設計受注 件数の 3割以上	設計受注 件数の 3割以上
	受注 件数					
9 地域環境保全活動の 推進	回	5	5	7	7	7

※ 購入電力の排出係数は中部電力ミライズ（株）2021年度の調整排出係数 “0.388を
使用している(kg-Co2/kwh).

※ グリーン購入については、文具品のみを記載

※ 但し、資材の境界杭は、グリーン商品を購入している。

(3 年 間)

4. 環境経営目標

事業年度 毎年7月～翌年6月の1年間

環境目標項目	単位	基準年数値	2023年 (実績)	2024年 (目標)	2025年 (目標)	2026年 (目標)
		2021年度 実績を ベースとする				
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	19,412	18,044	19,412	19,218	19,024
			(93%)	(100%)	(99%)	(98%)
2 電気使用量の削減	kWh	11,732	13,385	11,732	11,615	11,497
			(114%)	(100%)	(99%)	(98%)
3 ガソリン及び軽油使用量の削減	ℓ	6,389	5,529	6,389	6,325	6,261
			(87%)	(100%)	(99%)	(98%)
4 総排水量の削減	m ³	97.0	103.0	97.0	91.1	91.1
			(106%)	(100%)	(99%)	(98%)
5 社有車の燃費向上	km/ℓ	16.0	15.8	16.0	16.0	16.0
			(99%)	(100%)	(100%)	(100%)
6 廃棄物排出量の削減 (再資源化率)	t	0.66	2.69	0.63	0.63	0.63
	(%)	(40%)	(40%以上)	(40%以上)	(40%以上)	(40%以上)
7 グリーン購入	購入品目	(24/35) 総品目の 6割以上	(30/46) 総品目の 6割以上	総品目の 7割以上	総品目の 7割以上	総品目の 7割以上
	総品目					
8 【自ら提供するサービス】 環境に配慮した計画・ 設計の適切な提案	提案 件数	設計受注 件数の 2割以上	(17/32) 設計受注 件数の 5割以上	設計受注 件数の 3割以上	設計受注 件数の 3割以上	設計受注 件数の 3割以上
	受注 件数					
9 地域環境保全活動の 推進	回	5	5	7	7	7

※ 購入電力の排出係数は中部電力ミライズ（株）2021年度の調整排出係数 “0.388を
使用している(kg-Co2/kwh).

※ グリーン購入については、文具品のみを記載

※ 但し、資材の境界杭は、グリーン商品を購入している。

5. 環境経営計画

適用事項に○を記入

目的	区分	項目	担当	活動項目	2023年度実績	2024年度	2025年度	2026年度
二酸化炭素の削減	全般		総務・営業管理GP長	①下記項目の実施状況のチェック	○	○	○	○
				②ノー残業DAYの実施	○	○	○	○
				③計画見直しと新しいアイデアの募集	○	○	○	○
	購入電力	照明	担当部門責任者	①消灯の徹底	○	○	○	○
				②高効率照明機器の導入	○	○	—	—
		空調		①温度設定夏28℃ 冬20℃	○	○	○	○
				②使用していないエリアの空調停止	○	○	○	○
				③遮光対策（窓ガラスの遮熱シート貼付）	○	○	○	○
		その他		④新規空調設備への代替え、及び導入（1階）	×	○	○	○
				①夏場の電気ポット使用の自粛	○	—	—	—
				②使用頻度の少ない電化製品のプラグをコンセントから抜く	○	○	○	○
				③エアコン定期点検（フロンチェック表）	○	○	○	○
	燃料	乗用車	担当部門責任者	①エコドライブ	○	○	○	○
				②余分な荷物は、車に乗せて置かない	○	○	○	○
				③アイドリングストップ	○	○	○	○
④夏冬場以外での運転時のエアコン使用自粛				○	○	○	○	
⑤燃費測定による意識向上と燃料削減				○	○	○	○	
⑥省エネ車の導入（2022年以降電気自動車の購入予定）				○	○	—	—	
廃棄物の削減	事業所	担当部門責任者	①社内ネットワークの強化（社内ペーパーレス化）	○	○	○	○	
			②備品の管理強化による不用備品の削減	○	○	○	○	
			③コピー用紙の両面使用	○	○	○	○	
			④封筒の再利用	○	○	○	○	
			⑤廃棄物の分別とリサイクル	○	○	○	○	
節水	上水	担当部門責任者	①節水（洗濯、洗車等）、トイレの浮き	○	○	○	○	
			②節水こまの取り付け	○	○	○	○	
			③その他節水製品の導入	○	○	○	○	
資材等購入	事務用品	担当部門責任者	①グリーン購入対象品優先購入	○	○	○	○	
			②再生材料の優先購入	○	○	○	○	
			③環境ラベル対応品の購入	○	○	○	○	
			④何回も使える物の購入	○	○	○	○	
自ら提供するサービス	環境配慮設計	技術GP長	①環境に配慮した計画・設計の適切な提案	○	○	○	○	
			②ふじのくに色彩・デザイン指針（静岡県）を参考とした設計	○	○	○	○	
			③環境に配慮した設計内容の社内共有	○	○	○	○	
	地域貢献	担当部門責任者	①スーパー林道カーブミラー等清掃（年1回）	○	○	○	○	
			②近隣道路清掃（年3回）	○	○	○	○	
			③地元交通安全立哨活動（年4回）	○	○	○	○	
			④地元小学校での地図教室開催の協力（要請時）	○	○	○	○	
	教育訓練	担当部門責任者	①社員への安全教育訓練の実施	○	○	○	○	
			②緊急時の避難訓練・災害協力への取り組み	○	○	○	○	

5. 環境経営計画

適用事項に○を記入

目的	区分	項目	担当	活動項目	2023年度実績	2024年度	2025年度	2026年度
二酸化炭素の削減	全般		総務・営業管理GP長	①下記項目の実施状況のチェック	○	○	○	○
				②ノー残業DAYの実施	○	○	○	○
				③計画見直しと新しいアイデアの募集	○	○	○	○
	購入電力	照明	担当部門責任者	①消灯の徹底	○	○	○	○
				②高効率照明機器の導入	○	○	—	—
		空調		①温度設定夏28℃ 冬20℃	○	○	○	○
				②使用していないエリアの空調停止	○	○	○	○
				③遮光対策（窓ガラスの遮熱シート貼付）	○	○	○	○
		その他		④新規空調設備への代替え、及び導入（1階）	×	○	○	○
				①夏場の電気ポット使用の自粛	○	—	—	—
				②使用頻度の少ない電化製品のプラグをコンセントから抜く	○	○	○	○
				③エアコン定期点検（フロンチェック表）	○	○	○	○
	燃料	乗用車	担当部門責任者	①エコドライブ	○	○	○	○
				②余分な荷物は、車に乗せて置かない	○	○	○	○
				③アイドリングストップ	○	○	○	○
④夏冬場以外での運転時のエアコン使用自粛				○	○	○	○	
⑤燃費測定による意識向上と燃料削減				○	○	○	○	
⑥省エネ車の導入（2022年以降電気自動車の購入予定）				○	○	—	—	
廃棄物の削減	事業所	担当部門責任者	①社内ネットワークの強化（社内ペーパーレス化）	○	○	○	○	
			②備品の管理強化による不用備品の削減	○	○	○	○	
			③コピー用紙の両面使用	○	○	○	○	
			④封筒の再利用	○	○	○	○	
			⑤廃棄物の分別とリサイクル	○	○	○	○	
節水	上水	担当部門責任者	①節水（洗濯、洗車等）、トイレの浮き	○	○	○	○	
			②節水こまの取り付け	○	○	○	○	
			③その他節水製品の導入	○	○	○	○	
資材等購入	事務用品	担当部門責任者	①グリーン購入対象品優先購入	○	○	○	○	
			②再生材料の優先購入	○	○	○	○	
			③環境ラベル対応品の購入	○	○	○	○	
			④何回も使える物の購入	○	○	○	○	
自ら提供するサービス	環境配慮設計	技術GP長	①環境に配慮した計画・設計の適切な提案	○	○	○	○	
			②ふじのくに色彩・デザイン指針（静岡県）を参考とした設計	○	○	○	○	
			③環境に配慮した設計内容の社内共有	○	○	○	○	
	地域貢献	担当部門責任者	①スーパー林道カーブミラー等清掃（年1回）	○	○	○	○	
			②近隣道路清掃（年3回）	○	○	○	○	
			③地元交通安全立哨活動（年4回）	○	○	○	○	
			④地元小学校での地図教室開催の協力（要請時）	○	○	○	○	
	教育訓練	担当部門責任者	①社員への安全教育訓練の実施	○	○	○	○	
			②緊急時の避難訓練・災害協力への取り組み	○	○	○	○	

6. 環境経営目標の実績とその評価

2023年7月～2024年6月

環境目標項目	単位	基準年数値	2023年度 目標	2023年度 結果	達成率	評価	
		2021年度 実績を ベースとする					
1	二酸化炭素 排出量の削減	kg-CO2	19,412	19,412 (100%)	18,044	107.6%	○
2	電気使用量の 削減	kWh	11,732	11,732 (100%)	13,385	87.7%	△
3	ガソリン及び 軽油使用量の 削減	ℓ	6,389	6,389 (100%)	5,529	115.6%	◎
4	総排水量の削減	m ³	97.0	97 (100%)	103.0	94.2%	△
5	社有車の 燃費向上	km/ℓ	16.0	16.0 (100%)	15.8	98.8%	△
6	廃棄物排出量の削減 (再資源化率)	t %	0.66	0.63 (40%)	2.69	23.4%	×
7	グリーン購入	購入品目 総品目	24 35	総品目の 7割以上	30 46	93.2%	△
8	【自ら提供するサービス】 環境に配慮した計画・設計 の適切な提案	提案件数 受注件数	13 42	設計受注 件数の 3割以上	17 32	177.1%	◎
9	地域環境 保全活動の推進	回	5	7	5	71.4%	△

※ 評価基準 ◎・・・十分達成できた ○・・・目標達成 △・・・目標未達

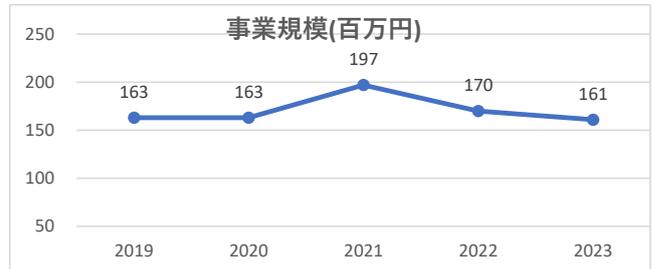
※ 基準年数値の二酸化炭素排出量における購入電力の排出係数は、中部電力ミライズ(株)の2021年度の調整後排出係数の“0.388kg-CO2/kwh”を使用している。

2019年基準 5年間推移

(株)技研測量

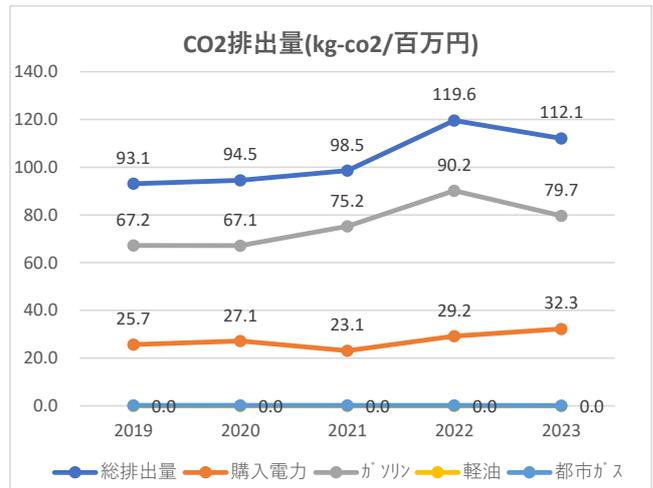
電力変換係数0.388kgco2/kw(2021年)

1)事業規模	H30	H30	R1	R2	R3
	基準年				
	2019	2020	2021	2022	2023
売上高(百万円)	163	163	197	170	161
従業員(人)	15	15	18	19	19



2)CO2排出量(Kg-CO2/百万円)

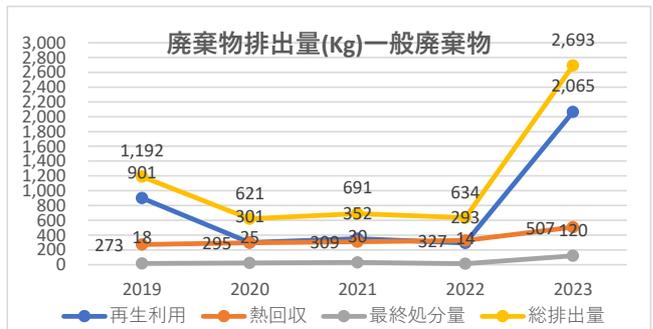
	2019	2020	2021	2022	2023
総排出量	93.1	94.5	98.5	119.6	112.1
購入電力	25.7	27.1	23.1	29.2	32.3
ガソリン	67.2	67.1	75.2	90.2	79.7
軽油	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
都市ガス	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1



購入電力(Kg-co2)	4,184	4,423	4,552	4,964	5,193
ガソリン(Kg-co2)	10,954	10,945	14,822	15,330	12,827
軽油(Kg-co2)	0	0	0	0	0
都市ガス(Kg-co2)	32	37	39	35	24
総排出量(Kg-co2)	15,171	15,405	19,413	20,328	18,044
購入電力排出係数	0.388	0.388	0.388	0.388	0.388
年度(kg-co2/KWh)	2021年度	2021年度	2021年度	2021年度	2021年度

3)廃棄物排出量(Kg) 一般廃棄物

	2019	2020	2021	2022	2023
再生利用	901	301	352	293	2,065
熱回収	273	295	309	327	507
最終処分量	18	25	30	14	120
総排出量	1,192	621	691	634	2,693



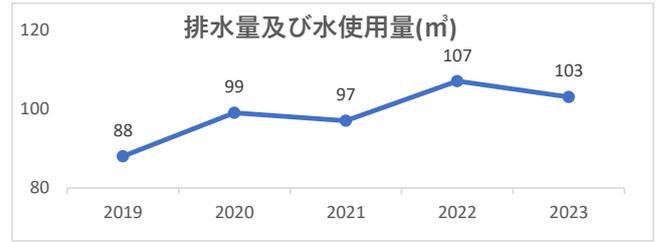
4)再資源化率(%)

	2019	2020	2021	2022	2023
一般廃棄物	75.6	48.4	51.0	46.2	76.7



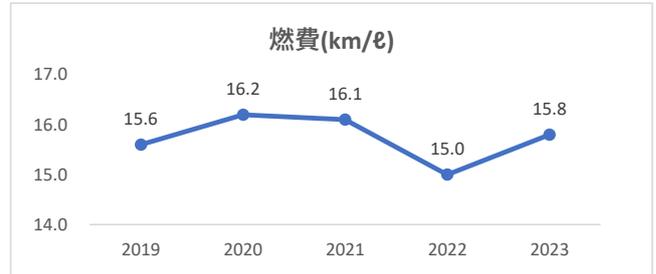
5)排水量及び水使用量(m³)

	2019	2020	2021	2022	2023
水道水	88	99	97	107	103



6)社有車の燃費向上

	2019	2020	2021	2022	2023
燃費(km/ℓ)	15.6	16.2	16.1	15.0	15.8



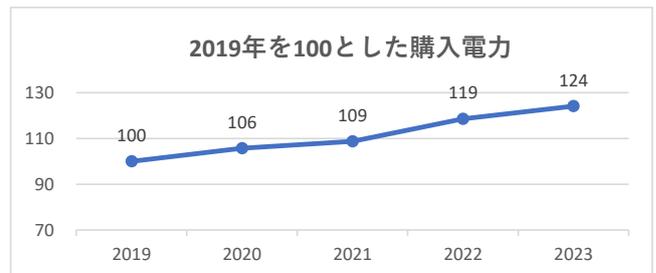
7)2019年を100としたCO2総排出量の推移

	2019	2020	2021	2022	2023
CO2総排出量	100	102	128	134	119



8)2019年を100とした購入電力の推移

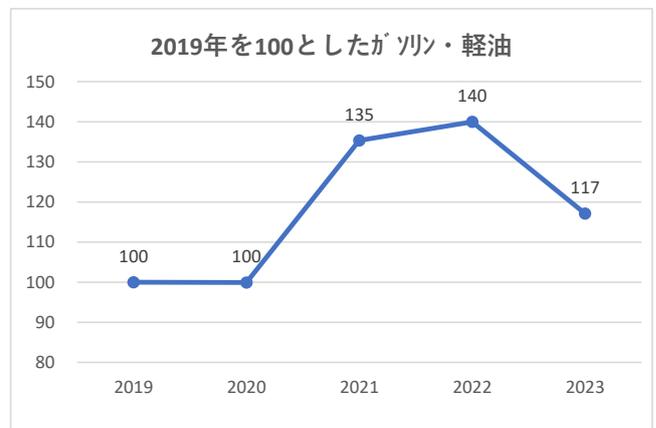
	2019	2020	2021	2022	2023
購入電力	100	106	109	119	124



9)2019年を100としたガソリン・軽油の推移

	2019	2020	2021	2022	2023
ガソリン・軽油	100	100	135	140	117

ガソリン(ℓ)	4722	4718	6389	6608	5529
軽油(ℓ)	0	0	0	0	0
計	4722	4718	6389	6608	5529



7. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容（実施状況と評価を含む）

1) 環境経営計画の実施状況及び取り組みに対する評価

目的	区分	項目	活動責任者	活動項目	実施時期	2023年度評価
二酸化炭素の削減	全般		総務・営業管理GP長	①下記項目の実施状況のチェック	※繁忙期を除く 通年	○
				②ノー残業DAYの実施		○
				③計画見直しと新しいアイデアの募集		○
	購入電力	照明	担当部門責任者	①消灯の徹底	通年	○
				②高効率照明機器の導入		○
		空調		①温度設定夏28℃ 冬20℃		○
				②使用していないエリアの空調停止		○
				③遮光対策（窓ガラスの遮熱シート貼付）		○
				④新規空調設備への代替え、及び導入（1階）		○
	その他	①夏場の電気ポット使用の自粛	-			
		②使用頻度の少ない電化製品のプラグをコンセントから抜く	○			
	燃料	乗用車	担当部門責任者	③エアコン定期点検（フロンチェック表）	通年	○
				①エコドライブ		○
				②余分な荷物は、車に乗せて置かない		○
				③アイドリングストップ		○
				④夏冬場以外での運転時のエアコン使用自粛		○
				⑤燃費測定による意識向上と燃料削減		○
	⑥省エネ車の導入（2023年ハイブリッド車購入クラウン）	○				
廃棄物排出量の削減	事業所	担当部門責任者	①社内ネットワークの強化（社内ペーパーレス化）	通年	○	
			②備品の管理強化による不用備品の削減		○	
			③コピー用紙の両面使用		○	
			④封筒の再利用		○	
			⑤廃棄物の分別とリサイクル		○	
節水	上水	担当部門責任者	①節水（洗濯、洗車等）、トイレの浮き	通年	○	
			②節水こまの取り付け		○	
			③その他節水製品の導入		○	
資材等購入	事務用品	担当部門責任者	①グリーン購入対象品優先購入	通年	○	
			②再生材料の優先購入		○	
			③環境ラベル対応品の購入		○	
			④何回も使える物の購入		○	
自ら提供するサービス	環境配慮設計	技術GP長	①環境に配慮した計画・設計の適切な提案	通年	○	
			②ふじのくに色彩・デザイン指針（静岡県）を参考とした設計		○	
			③環境に配慮した設計内容の社内共有		○	
	地域貢献	担当部門責任者	①スーパー林道カーブミラー等清掃（年1回）	通年	○	
			②近隣道路清掃（年3回）		○	
			③地元交通安全立哨活動（年4回）		△	
			④地元小学校での地図教室開催の協力（要請時）		○	
	教育訓練	担当部門責任者	①社員への安全教育訓練の実施	通年	○	
			②緊急時の避難訓練・災害協力への取り組み		○	

対象期間（2023年7月1日～2024年6月30日）

2) 環境経営計画に対する評価と次年度取り組み

目的	区分	項目	活動責任者	活動項目	評価と次年度取組内容
二酸化炭素の削減	全般		総務・営業管理GP長	①下記項目の実施状況のチェック	各項目についてほぼ実施できている。来期は増改築後の1F事務所に移転の為、計画の見直しの必要がある。
				②ノー残業DAYの実施	
				③計画見直しと新しいアイデアの募集	
	購入電力	照明	担当部門責任者	①消灯の徹底	LED照明化が完了 増改築工事により、窓の開閉ができず必然的にエアコン使用量が増えた。結果電気使用量もあがったが想定範囲内で収まっている。今後はサーキュレーター等で空気を攪拌し、効果的な配置場所を考慮し室内温度のムラをなくす。エアコンの定期点検の実施
				②高効率照明機器の導入	
		空調		①温度設定夏28℃ 冬20℃	
				②使用していないエリアの空調停止	
				③遮光対策（窓ガラスの遮熱シート貼付）	
				④新規空調設備への代替え、及び導入	
	その他	①夏場の電気ポット使用の自粛			
②使用頻度の少ない電化製品のプラグをコンセントから抜く ③エアコン定期点検（フロンチェック表）					
燃料	乗用車	担当部門責任者	①エコドライブ	省エネ車購入により、昨年より燃費がよくなった。今後の取り組みとして、エコドライブ講習を実施し、燃費向上意識を再確認する。	
			②余分な荷物は、車に乗せて置かない		
			③アイドリングストップ		
			④夏冬場以外での運転時のエアコン使用自粛		
			⑤燃費測定による意識向上と燃料削減		
			⑥省エネ車の導入		
廃棄物排出量の削減	事業所	担当部門責任者	①社内ネットワークの強化（社内ペーパーレス化）	事務所増改築工事の為、控え書類の大々的な廃棄・整理を行った。そのため目標値を大きく上回ったが、改めて今後の書類管理方法について検討する機会となった。具体案として電子化などを進めていくことを検討している。	
			②備品の管理強化による不用備品の削減		
			③コピー用紙の両面使用		
			④封筒の再利用		
			⑤廃棄物の分別とリサイクル		
節水	上水	担当部門責任者	①節水（洗濯、洗車等）、トイレの浮き	増改築工事に伴い、洗濯機を撤去。置きタオルに変えハンドタオルを持参することで今後の節水に期待できる。	
			②節水こまの取り付け		
			③その他節水製品の導入		
資材購入等	事務用品	担当部門責任者	①グリーン購入対象品優先購入	引き続きグリーン対象製品、リサイクル商品、詰め替えのできる商品を優先的に購入する。	
			②再生材料の優先購入		
			③環境ラベル対応品の購入		
			④何回も使える物の購入		
自ら提供するサービス	環境配慮設計	技術GP長	①環境に配慮した計画・設計の適切な提案	環境配慮の設計提案を積極的に実施した。（達成率は177.1%） 今後も美しい山河に準拠し、明度テクスチャーに配慮する等、河川設計を行っていく。	
			②ふじのくにに色彩・デザイン指針（静岡県）を参考とした設計		
			③環境に配慮した設計内容の社内共有		
	地域貢献	担当部門責任者	①スーパー林道カーブミラー等清掃（年1回）	今年度もすべて実施できた。（交通安全立哨運動は雨天で2回中止） 次年度も引き続き活動していく。	
			②近隣道路清掃（年3回）		
			③地元交通安全立哨活動（年4回）		
			④地元小学校での地図教室開催の協力（要請時）		
	教育訓練	担当部門責任者	①社員への安全教育訓練の実施	能登半島地震災害協力について教育訓練を行った。今後も都度進捗状況等の報告及び意見交換を行い、災害対応の意識向上を図っていく。	
			②緊急時の避難訓練・災害協力への取り組み		

対象期間（2023年7月1日～2024年6月30日）

3) 環境への取組活動と緊急時の想定と訓練

～昨年度より継続して活動中の取り組み～

<1> 浜松市省エネ認定事業者

<2> 浜松市主催COOL CHOICE(CO2 排出削減推進のための国民運動)

エコドライブの実施

<3> 地球温暖化防止活動推進員（活動中）

地球温暖化防止対策に関する実践活動や啓発など



<4> 静岡県 未来の森サポーター ボランティア活動

天竜スーパー林道沿線における美化活動を平成26年度より継続実施

- ① 転石等及び枝等の除去
- ② カーブミラーの清掃
- ③ 林道沿線（道路内）のごみ拾い等



<5> 浜松市里親制度 道路清掃ボランティア活動

地元都田テクノロード歩道の道路清掃活動を平成26年より継続実施（年3回）



<6> 交通安全立哨活動

浜名区ショッピングセンター前交差点、浜松市役所前交通安全立哨活動への参加（年4回）

（※今年度は雨天の為2回中止）

浜松市役所前交差点(2024月/4月)



ショッピングセンター前交差点(2023月/7月)



<7> その他ボランティア活動

2024年10月 静岡県測量設計業協会主催の中田島清掃作業

<8> 社内エコ活動及び緊急時の想定・教育訓練

社内エコミーティング活動

環境経営活動報告（年4回実施）……環境経営計画チェック表に基づき、進捗度の報告および今後の課題と取り組みについて意見交換を行う

各エコ担当者による啓発活動の例



緊急時の想定及び訓練

緊急連絡網の再確認 …一斉ラインによる訓練
救急箱・非常持ち出し袋の定期点検（2024.3月）
災害支援に備えた備蓄品の追加（飲料水・簡易トイレ）について共有確認

教育訓練

災害協力（能登半島地震）の取り組みについての社内認識の共有

- 現地作業の実施状況の確認
現地作業を行った社員による報告
- 問題点・改善点等の確認
現地実施作業状況における問題点と改善策、また今後作業を進めていく上で想定される問題点等の意見交換



<9> 現場事例集（環境保全に配慮した提案等の一例など）

一災害 中山川護岸詳細設計(浜松市天竜区春野町領家)一

施工前 2022年10月 撮影



施工後 2024年7月 撮影



※護岸ブロック積工の明度テクスチャーに配慮

一災害 細江舞阪線道路災害測量設計（浜松市浜名区細江町気賀）一

施工前 2023年6月 撮影



施工後 2024年7月 撮影



※法枠面を緑化し環境に配慮

一農山漁村地域整備 土肥戸田線測量業務(伊豆市小土肥地内)一

施工前 2022年6月 撮影



施工後 2024年7月 撮影



※竜形法留工にて環境に配慮した

一権七峠線測量設計調査（静岡市葵区大沢地内）一

施工前 2022年2月 撮影



施工後 2024年2月 撮影



8. 環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況

確認日： 2024年6月30日

I 環境関連

環境関連法規等遵守状況確認及び評価結果

(株)技研測量 遵守確認者： 大塚 将幹

関係当局よりの違反等の指摘や訴訟も過去3年間ありません。

項番	法規・条例・規制	条 項	適用内容または規制基準	実施内容	確認結果
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務	事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正処理	○
		第6条の2	一般廃棄物、市町村の処理	一般廃棄物を適正に分別、保管等市町村が行う、収集、運搬、処分に協力、	○
		第12条	事業者の処理、産業廃棄物の処理または委託基準の遵守	産業廃棄物収集運搬業者、産業廃棄物処分業者に委託	○
		第12条の3	マニフェストの交付義務、記載義務	マニフェストの適正な作成(様式、記載内容等)	○
			マニフェストの保管・管理	管理表写し送付を受けた後5年間保管(B2・D・E票)	○
			マニフェストの期間内の返却の確認	管理表発行から90日以内又は最終処分は180日以内	○
		第12条の4	虚偽管理表交付の禁止	虚偽管理表は発行しない	○
2	廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令	第6条	産業廃棄物の収集、運搬、処分等の基準	水銀使用製品保管場の仕切り、表示、委託契約「水銀含有」	○
3	浜松市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第4条	事業者の責務	産業廃棄物の適正な処理、従業員に対し、廃棄物の適正な処理に関する教育を行う	○
4	自動車リサイクル法 ⇒注1.	第5条	自動車の所有者の責務	なるべく長期間使用、使用済自動車の抑制と再資源化	○
		第73条	再資源化預託金	再資源化預託金を資金管理人に預託	○
5	家電リサイクル法 ⇒注2.	第6条	事業者及び消費者の責務	特定家庭用機器のなるべく長期間使用、廃棄物の排出抑制、収集・運搬再商品化引き渡しと料金支払い(ユニット型エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機)	○
6	容器包装リサイクル法 ⇒注3.	第4条	事業者及び消費者の責務	容器包装の過剰な使用の抑制、分別収集、再商品化	○
7	消防法	第8条	防火管理	通報・避難訓練、防火設備(火災報知器、消火栓)維持管理	○
		第8条の2の4	避難上必要な施設	防火設備、避難通路に支障なものを放置しない	○
8	プラスチック資源循環促進法	第4条	事業者及び消費者の責務	プラスチック使用製品廃棄物の排出を抑制し、再資源化製品の使用に努める。	○
9	フロン排出抑制法	第16条	管理者の責任	第一種特定製品の簡易点検(1回/3カ月以上)及び記録簿保存 7.5kw以上は有資格者による定期点検	○

注1. 自動車リサイクル法

使用済自動車の再資源化等に関する法律

注2. 家電リサイクル法

特定家庭用機器再商品化法

注3. 容器包装リサイクル法

容器包装に関わる分別収集及び再商品化の促進に関する法律

II 測量関係

測量法規等遵守状況確認及び評価結果

関係当局よりの違反等の指摘や訴訟も過去3年間ありません。

項番	法規・条例・規制	条 項	適用内容または規制基準	実施内容	確認結果
1	測量法	第48条	測量士及び測量士補	基本測量、公共測量に従事する測量する技術者は測量士及び測量士補	○
		第49条	測量士及び測量士補の登録	測量士及び測量士補の登録の申請	○

代表者による全体の評価と見直し

* 評 価

結果的には目標9項目のうち7項目達成。2項目未達という結果に終わった。
全体的にはほぼ合格点ではないかと思う。

* 改 善 点

電気使用量が目標値より15%ほどオーバーしており、これについては
内容を分析し使用量の高い器具などを特定し対策していきたい。

* 目標・方針の見直し

内部環境(人員、売り上げ、床面積、設備増)外部環境(気温上昇による
環境)の変化に伴い、今後環境方針や目標値の適切性を見直し必要に応じて
修正していく。

* 意識向上

目標・結果を従業員全員で共有し、全員の環境意識を高め、活動への
積極的参加を推進していきたい。

株式会社 技研測量
代表取締役 宮島直久